

西暦 2021 年 11 月 5 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	小児腎移植患者の移植後貧血についての検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 藤原香緒里 腎・代謝科 医長
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	1996 年 4 月から 2019 年 12 月までに 20 歳未満で腎移植術を施行し、当科で移植後 5 年以上追跡が可能な者
研究期間	研究実施許可後～2022 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	<p>小児腎移植患者において、移植後貧血の頻度と移植後貧血が腎機能に及ぼす影響について調べることを目的とします。</p> <p>対象症例について、診療録を元に以下の項目を後方視的に調査します。</p> <p>① 腎移植後 6 ヶ月、1 年、2 年、3 年、4 年、5 年におけるヘモグロビン値と腎機能</p> <p>② 一般的に移植後貧血の原因とされている因子 (移植後の感染症の有無、拒絶反応の有無、レニン・アンギオテンシン系阻害薬使用の有無、免疫抑制薬の種類、鉄欠乏の有無)</p> <p>③ 対象症例の臨床的背景について (移植時年齢、原疾患、ドナー年齢、腎移植までの透析期間、先行的腎移植の有無、移植前のヘモグロビン値)</p> <p>移植後 1 年時点におけるヘモグロビン値を 11.0g/dL 以上と未満で 2 群にわけて上記項目について比較検討を行います。</p>
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	上記の項目について、診療録から調査を行います。カルテ番号、生年月日なども用いますが、これらの個人情報情報は匿名化して研究に使用します。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。

個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 腎・代謝科 医長 藤原香緒里 大阪府和泉市室堂町 840 電話 0725-56-1220 (代表)